

山崎町長 12月議会で表明

「憲法9条改悪・・・危機性を感じる」

新幹線栗東駅直接請求署名

みなさんのご協力で

全県で8万379筆を提出

甲良町内で283筆

ご協力ありがとうございました。

「署名の会」は7日、県下すべての市町でいっせいに提出しました。「JRが1円も負担しないのはおかしい」「ゴツイ税金のムダ使いや」など、県民の怒りが湧き、甲良町内では実質約10日間の取り組みで、一気に法定数の50分の1を突破。この直接署名は、自筆の署名と捺印、生年月日の記入を求めるなど、また、法律の規定により、選挙終了まで署名収集ができないなど、大変厳しい条件のもとで法定数の3.7倍(甲良町では2倍)の署名が寄せられたことも大変注目されます。

12月議会は9日再開され、一般会計補正予算他の討論・採決と5議員の一般質問が行なわれました。西澤議員の質問の中で「憲法9条改定の動きをどう考えるか」との質問に、山崎町長は「私は以前より憲法9条擁護派です」と前置きし、9条規定の意義、政府の戦争方針が決まれば、自治体は軍事優先の業務形態に変えられること、国際社会で存在感を示せたのは戦争放棄の9条が根拠にあったことなど強調し、9条改悪に危機を感じると表明。注目されました。詳しくは、次回に紹介します。

賛成ゼロ！前代未聞？

6日開会の甲良町議会12月定例会で、町道下之郷雨降野線にある石畳を通過した自動車の後輪を損傷したとしてA町在住のBさん(議案は実名)への損害賠償議案(賠償額18,690円)が賛成議員ゼロで否決されました。ある幹部職員は「賛成ゼロなんて前代未聞やで」とささやいていました。

議案説明の全員協議会でも、審議された本会議でも、事故状況の第三者確認が無い、過失割合が100%町側にあるとは考えられない、運転者に全くの責任が無いのか、もともと車が通らないようにしている場所ではないのか、施工が完全だったのか疑問が残るなど、色々な疑問・論議が噴出し、納得できる状況ではないと全員が判断した結果と見られます。

私は、(もともと「せせらぎ」の事業が狭い道路を車が通り、石畳をはねる)リスクを包含しての事業である認識があること、町が全面責任をとる「管理不十分」の内容が定かではない、示談の調書を公表すべき、施工業者の責任はなかったのか、大変重要な課題が未整理だ、などと指摘し、反対討論を行いました。否決の事態は、議会のチェック機能が発揮された事例として冷静に評価できていると思っています。(西澤)



甲良民報

2005年12月11日 No306
発行責任：日本共産党甲良町支部
代表：西澤伸明 甲良町在土463
Tel. Fax38-4949
Eメール info@jcp-nobuaki.com
のぶあきホームページ
<http://www.jcp-nobuaki.com/>

匿名希望さんから選挙後メールが届きました。ご本人の了解を得て、その一部を割愛して紹介いたします。文中の実名を「A氏」に換えています。

「あきらめ切れないうがみに関しては、沢山感じている人がいると思います。ただ、これが甲良町だ」と言ったところどころに「あきらめ切れないうがみ」

「あきらめ切れないうがみ」ではないでしょうか？

そのために「あきらめ切れないうがみ」もひとつひとつ解決していただき。解決することで、住民の気持ちも必ず変わると思っています。私も少なからず「あきらめ切れないうがみ」部分があります。

私が西澤様に初めてメールしたところ、内容を覚えておられますか？社協の「A氏」のことでした。3月くらいだったでしょうか？今でも「あきらめ切れないうがみ」と腹立たしく思っています。でも証拠が無いからどうしようもない。そう思う反面、議会で問題になったことであの人の見る目が変わった人もいるのも確かだと思えます。だから西澤様に話したことは無駄ではなかったと信じています。

最初に「あきらめ切れないうがみ」と申しましたが「あきらめ切れないうがみ」部分も当然あります。その為に今ある問題を西澤様中心に解決へと導いていただき住民に示すことが一番だと思えます。陰ながらではございますが応援しております。